

河村たかし市長あいさつ



2010年10月、名古屋に世界中から政府代表、企業、NGOやメディアなど1万人近い人が集まって、国連の生物多様性条約会議(COP10)が開かれます。

生物多様性とは、いろいろな種類の生きものがつながりあって、生きていることです。空を飛ぶ鳥や、地面を走っている動物、水の中に住んでいる魚だけでなく、薬や食品を供給してくれている微生物や遺伝子など、私たちの暮らしは、多くの生きものに支えられています。

名古屋は庶民の文化が花開いたまち。これらの自然の恵みに感謝しながら、市民の力で、名古屋を、世界に誇れる「人にやさしいまち」「緑と水があふれる風の通るまち」「多様な生きものと一緒に生きるまち」にしていこみゃーか。わしも、がんばるでよ。

【河村たかしの市民との約束】

目標：日本の風土を生かした環境都市名古屋を創る。

約束：2010年に名古屋で開催される生物多様性COP10を成功させる。

自然と共生する都市の再生を推進する。

(1) COP10名古屋の成功

2010年10月名古屋で開催される「COP10名古屋」を、ホストする地元として国際社会に貢献することにとどまらず、この会議を契機として、名古屋を世界有数の環境都市に作り変える。また、生物多様性に配慮し、自然と共生する街づくりを進めている世界の都市との連携を深め、「環境都市名古屋」を世界にアピールする。

(2) 自然と共生する都市再生事業

(名古屋版「緑のニューディール」街づくり政策)

① 緑の回廊、水の回廊、風の道

・名古屋の森(縄文・鎮守の森、里地里山、四季の花咲く公園、緑の校庭)を緑の回廊(緑の道路)でつなぎ、小川・地域河川を復活させ水の回廊でつなぐ。

② 日本一おいしい水ナゴヤ

・世界で7カ国しかない水道水を飲めると言われる国。そのひとつである日本において、「日本一おいしい水ナゴヤ」をめざす。

名古屋市のとりのくみ

生物多様性なごや戦略

名古屋市では「いのちのつながりを感じるひとづくり」「風土に適したくらしづくり」「自然の摂理に即したまちづくり」をめざして、「生物多様性なごや戦略」を策定しています(平成22年3月策定予定)。名古屋に残る自然に目を向け大切にする「身近な自然の保全・再生」と、古来の知恵や文化をとり入れた持続可能な生活を営む「生活スタイルの転換」が2つの大きな柱です。

生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)

「多様な生きものと生息環境を守り、賢く利用する」生物多様性条約を結んだ国が集まる会議(COP)の10回目だからCOP10。今世紀前半に日本で行われる最大の国際会議です。本体会議場(名古屋国際会議場)では各国政府代表が、白鳥地区、愛・地球博記念公園、栄地区では一般市民を含む多様な人たちが議論し、交流します。

開催時期 **2010年10月11日-29日**

開催場所 **名古屋国際会議場ほか**

参加者 **7,000名を超える人々**(各国政府、国連、NGO等)

主催者 **生物多様性条約事務局(モントリオール)**

議長国 **日本**

主な議題 **「2010年目標」**(生物多様性の損失速度を2010年までに顕著に減少させるという目標)の達成状況の検証とその後の目標など



生物多様性国際自治体会議

世界人口の約半数を占める都市生活者は、世界中の資源を消費し、生態系に深刻な影響を与えています。「生物多様性国際自治体会議」は生物多様性を保全再生利用するため世界の自治体は何をすべきか、経験や情報を共有し、行動する会議。「日本の風土を生かした環境首都名古屋」を発信しながら他都市と連携を深めます。

開催時期 **2010年10月24日-26日**

開催場所 **名古屋市内**

参加者 **国内外の自治体から約500名**

主催者 **愛知県、名古屋市、COP10支援実行委員会**

テーマ **「都市と生物多様性」**

生物多様性に関する名古屋市の情報は、環境情報ネットをごらんください。

<http://www.kankyo-net.city.nagoya.jp/biodiversity/index.html>

COP10に関する情報は、COP10支援実行委員会のウェブサイトをごらんください。

<http://www.cop10.jp/aichi-nagoya/>

制作 名古屋市環境局 / 株式会社サステナ

発行元 名古屋市環境局 生物多様性企画室

460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

Tel: 052-972-2696 Fax: 052-972-4134

古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

水と緑の 自然共生都市 ナゴヤにしよう



だいにしよう
生きものつながり